

2019.1
新春
第41号

からたち



撮影者/主任理学療法士 溝部 勝幸

地域から親しまれ、信頼される病院を目指します

患者さんに良質で
安心な医療を
提供します

医学・医療技術の
研鑽に努め、
最新の医療を提供します

地域福祉の向上と、
疾病予防策を
実践します

風通しの良い、
明るく働きがいのある
健全な職場を目指します

p.2 新年のご挨拶

p.3 部署紹介(手術室)

p.4 乾燥肌の予防・対策/感染症について

p.5 年末年始の食事について

p.6 第7回柳川病院健康まつり

p.7 柳川病院では様々な健康診断を実施しています

平成31年 新年のご挨拶



理事長付特命理事 嘉村 敏治

新年、明けましておめでとうございます。

本年は柳川病院が福岡県から財団へ移譲され私立病院の仲間入りをして13年目を迎えます。この

間病院の新築、新規診断機器の導入、電子カルテの導入を始めとして、新たな診療施設としての体制を整えてきました。一方50年の長きにわたり県立病院が目指してきた「地域に親しまれ信頼される」という精神は当院に受け継がれています。

当院は内科系診療科とともに外科系診療科を有する総合病院として地域の急性期医療の一端を担わせていただいております。一般内科、外科的診療に加え、特徴的な診療としては、消化管内視鏡

による早期胃がんや大腸がん治療、心筋梗塞のカテーテル治療、重症不整脈のアブレーション治療、腹腔鏡手術などの低侵襲手術を行っています。また乳がん、皮膚がんなどの悪性腫瘍手術、心臓手術など数多くの疾患に対応しています。地域の開業医の先生方や介護施設からのご紹介も多く、救急車搬入件数も年間約800件を数えています。また身体の異常を早期に発見するための自治体検診や事業所健診を積極的に行っています。

柳川病院は地域の皆様のニーズに応える急性期病院として、今後も質の高い医療を提供していきます。

いよいよ平成最後の年となりましたが、本年が皆様にとりまして、佳き年となりますよう心からお祈り申し上げます。



院長 於保 和彦

新年あけましておめでとうございます。

皆さまには健やかに新年をお迎えのこととこころよりお慶び申し上げます。

今年は平成最後の年です。新たな元号となり、新しい時代が始まります。新鮮な気持ちで医療界の荒波を乗り越えてゆく覚悟であります。

さて、わが国では“人生100年時代”というかつて人類が経験したことのない長寿化社会に突入しています。100歳以上の人口は2018年の統計では全国で69,785人、人口10万人あたり55.1人と10年前の約2倍となっています。一方で、総人口は減少し、働き手の不足が懸念されています。この地域でも人口減少、高齢化は進行中です。団塊の世代が75歳以上となる2025年も間近に

迫っています。いかに健康寿命を延ばせるか、元気なお年寄りを増やすかは地域の元気のためにも大切な課題です。そのお手伝いをするのも柳川病院の大切な使命です。本年は市民公開講座や地域の出張健康講座の回数を増やし、疾病予防の啓蒙活動を積極的に行っていきたいと思っております。また検診や人間ドックの件数を増やし、疾病の早期発見に努めます。

昨年もお蔭様で地域の先生方からの紹介件数や救急車による搬送件数が増加しました。本年も皆様のご期待に応えるべく基本理念である地域に親しまれ、信頼される病院、“身近な急性期病院”を目指し、職員一同、“猪突猛進”ではなく“勇往邁進”してゆく所存でございますので、何卒よろしくお祈り申し上げます。

最後になりましたが、2019年が皆様にとって素晴らしい1年となることを祈念して新年の挨拶といたします。

||||| 部署紹介(手術室) |||||

柳川病院手術室は、4部屋あり、外科・整形外科・皮膚科・心臓血管外科・婦人科の手術を年間750～800件ほど行っています。

スタッフは、看護師8名と看護助手1名で手術介助及びサプライ業務を行っています。

手術を受ける患者さんは、手術に関すること、日常生活のことなど様々な不安を抱かれています。わずかながらでも、その不安が解消できるよう、当院では、局所麻酔手術以外の全症例で、手術日の前日に、手術担当看護師が病室を訪問する“術前訪問”を実施しています。その際に、疑問や相談、不安に思っていることなどをお聞きしています。麻酔のわからないことや、好きな音楽を手術室で聞きたい、お守りを持ち込みたいなど何かあれば担当看護師が可能な範囲で対応していきます。

手術当日は、病室に訪問した看護師が、そばに付き添い、一つ一つ声をかけ、説明しながら手術の準備を進め、安心して手術に望めるよう援助しています。



麻酔後、患者さんが眠られた後は、麻酔の影響で体温が低下したり、長時間同じ体勢になることで、痛みやしびれが出たりする可能性があります。そのため、手術室看護師は、できる範囲で体を温め、神経圧迫や関節の可動域を考えながら、手術の体位を工夫するなど、手術が安全にスムーズに進行できるように援助しています。

現在、全症例には行えていませんが、手術後1～3日頃病室に訪問する“術後訪問”も実施しています。例えば、手術後に、肩の痛みがあったなどの訴えがあった場合は、原因は何かを全スタッフで話し合い、工夫や改善を行い、今後の手術に活かしていこうと考えています。

当院で、患者さんが少しでも安心して手術が受けられるよう、手術室スタッフ一同自己研鑽に努め、頼りにして頂けるよう日々努力していきます。

手術室
熊本裕紀子
石橋あゆみ





乾燥肌の予防・対策

気温や湿度が低くなる冬は「乾燥肌」でかゆみや湿疹などに悩まされていませんか？
「ただの肌荒れ」と軽く考えず、早めの予防・対策で健康な肌を維持しましょう。

【乾燥肌の症状とケア】

乾燥肌は、皮膚の水分や皮脂が減少することで、肌がカサカサしたり、ひび割れたり、粉をふいたような状態になることをいい、大抵かゆみや湿疹を伴います。特に乾燥肌の症状が出やすいのが、「手」「かかと」「すね」の3つです。

手	洗う回数が多いため、「濡れる」「乾く」を繰り返しているうちに皮脂が失われてしまい、手荒れが起きます。 予防法：できるだけ手を濡らさないよう、洗い物をする場合などは、手袋を着用しましょう。
かかと	角質が厚いため、皮膚が硬くなり、ひび割れが起こりやすい部位です。歩くときに力がかかるため、一度ひび割れが起こると治るのに時間がかかります。 予防法：保湿クリームを塗りにくい部位ですが、お風呂上がりなどにつけて、すぐに靴下を履くと効果が高まります。
すね	皮脂が出にくい部位のため、すぐに自然乾燥し、肌がカサカサしたり、粉をふいたような状態になります。ひどいときはひび割れが起きます。 予防法：乾燥に気付いたら、保湿クリームなどで早めに予防しましょう。

【乾燥肌の原因】

乾燥肌の原因には、環境によるものと、生活習慣によるものがあります。

環 境 * 空気の乾燥 (湿度の低下)・寒さとそれに伴う血行不良

生活 習 慣 * 肌の洗すぎ・不規則な生活・喫煙・寝不足 など

そ の 他 * 加齢に伴う肌の保湿力の低下



【乾燥肌にならないために】

部屋を乾燥させない	暖房を使用するときは、加湿器などを併用し、部屋の湿度を上げるようにしましょう。また、暖房の風が体に直接当たらないようにしましょう。
肌の洗過ぎに注意	肌を洗うときはぬるめのお湯で、やさしく洗いましょう。湯の温度が高過ぎたり、肌を強く擦り過ぎると皮脂まで落としてしまい、乾燥させる原因となります。また、石けんやボディソープは肌にやさしい弱酸性がおすすめです。
生活習慣を見直す	適度な運動、バランスの良い食事、規則正しい生活を心がけましょう。特に寝不足や喫煙は肌荒れの原因になるので極力避けましょう。
早めに保湿ケアを行う	保湿ケアは、肌の乾燥に気付いたらすぐに始めましょう。入浴後など、肌に潤いが残っている間に、保湿効果のあるクリームを塗るだけです。クリームは、種類によって成分や効能が異なるため、自分の肌の症状に合ったものを選んでください。

感染症について

【インフルエンザ】

- インフルエンザでは、咳やのどの痛みなどの呼吸器の症状だけでなく、高熱、全身のだるさ（倦怠感）、食欲不振などの全身症状が強く、しばしば、頭痛や関節痛・筋肉痛など呼吸器以外の症状を伴います。
- 合併症として、気管支炎、肺炎、中耳炎などがみられます。重大な合併症には急性脳症（インフルエンザ脳症）や重症肺炎があります。
- インフルエンザは咳、くしゃみ、せき、つばなどのしぶきと共に放出されたウイルスを、鼻腔から吸入することによって感染します。
- インフルエンザを拡散させないためにも、患者・周囲の人が共にマスクを着用することが効果的です。また、飛び散ったインフルエンザウイルスが付着したものを手で触ると、鼻や口、目、肌などを介してインフルエンザに感染することがあります。手洗いが感染を防ぐうえで有効なのはそのためです。

【急性胃腸炎（感染性胃腸炎・嘔吐下痢症）】

- 「急性胃腸炎」とは、おなかの中にウイルスが入って、吐いたり、下痢をする病気です。わかりやすく「おなかのカゼ」とも言われます。
- 便から移りますが、乾燥した吐物からウイルスが舞い上がって空気感染もします。
- 下痢が治まっても、1週間くらいは、便からウイルスがでていきますので、徹底して手を洗いましょう。
- 原因ウイルスは、ロタウイルス、ノロウイルス、腸管アデノウイルス等です。
- なかでもロタウイルスとノロウイルスによる急性胃腸炎が多いです。どちらも嘔吐や下痢が主な症状ですが、若干の違いがあります。



～年末年始の食事について～

年末年始は、クリスマス・忘年会・お正月・新年会など・・・イベントがたくさんあり、1年の中で最も食生活のリズムが乱れやすいと言われています。

そこで、今回は年末年始の食事のポイントについて紹介したいと思います。

● 年末年始の食生活が乱れてしまうのは？

- 忘年会・新年会シーズンで外食が増える（お酒も含め）
- 普段の食事とは違うおせち料理を食べる。
- 生活が不規則になる



● 気をつけるポイント

ー 外食 ー

外食は一般的に高エネルギー・高塩分食、野菜の摂取が少なくなるなど、なかなか1食で調整をするのは難しいので、1日の中で食事の内容を調整しましょう。

野菜のメニューを注文したり、野菜がたっぷりと摂れる鍋料理等を選んで工夫するようにしましょう。



～ 飲酒について～

アルコール摂取量の基準は、ビールは中びん1本(500ml)、日本酒は1合(180ml)、ウイスキーはダブル1杯(60ml)、焼酎0.6合(110ml)が目安！

(※女性は半分量：体格・肝臓の大きさが男性より小さく、アルコール代謝能力の低いと言われています。)

ー おせち料理 ー

おせち料理は保存の為に、味付けが濃くなっています。

その上、1人分ずつ盛り付けられていない為、つい食べ過ぎてしまったり、好きな料理をばかり食べてしまいがちです。

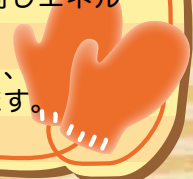
食べた量が分かるように、1人分ずつ盛りつけたり、偏りがないように野菜料理やきのこ・こんにゃく等を積極的に摂るようにしましょう。



～ お餅の食べ方について～

丸餅2個(重さ：約70g)でご飯100g(小茶碗1杯程度)と同じエネルギー量になります。

ご飯に加えてお雑煮となると、食べすぎにつながってしまいます。



外食やおせち料理など年末年始でも、『主食』『主菜』『副菜』をそろえて食べ、1日3食バランスの良い食事を心がけましょう。

第7回

柳川病院健康まつり

実行委員長 近藤 亮介



こっぼりー

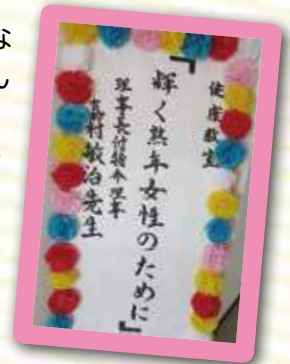
2018年10月27日(土)に第7回柳川病院健康まつりを開催しました。当日は天候にも恵まれて、100名を超える地域の皆様にお越し頂きました。オープニングイベントでは、柳川むつごろう連の皆様にお披露いただき、楽しく踊られている姿をみて、一緒に踊られている方もいらっしゃいました。健康教室では「輝く熟年女性のために」という演題で、産婦人科嘉村先生に講演頂きました。

血管年齢測定や物忘れ相談プログラム、お菓子のつかみ取りなどのイベントにも、子どもから大人までたくさんの方に楽しんでいただきました。

当日はこっぼりーにも遊びに来てもらい、握手したり写真を撮ったりとたくさんのふれあいで笑顔がいっぱいでした。

健康まつりを開催するにあたり、多くの皆様のご協力を頂きまして感謝と共に御礼申し上げます。

今後も柳川病院は地域に親しまれ信頼される病院を目指して頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。



輪投げ



阿波おどり



健康教室

医療相談窓口について

当院では、患者様やそのご家族などの病気や入院生活などに関するご相談に対応するため「医療相談窓口」を設置しています。

必要に応じて院内の関係部署と連携し、問題解決に努めてまいります。

予約は不要です。

どなたでもお気軽にご相談下さい。

●受付時間

月曜日～金曜日：9：00～17：15

土曜日：9：00～12：00

(祝日・年末年始を除く)



柳川病院では様々な健康診断を実施しています

自治体や社会保険の補助を受け健康診断を実施することができます。
(現在加入している健康保険や年齢などによって異なります。)

日帰りドック・脳ドック

当院では、検査内容が充実した日帰りドック、頭部検査に重点をおいた脳ドックを実施しています。また多数のオプション検査も取り揃えておりますので、ご希望に応じて検査受けることができます。

国民健康保険にご加入の方

●特定健診（柳川市の場合）

対象者：柳川市国民健康保険加入者で 40 歳～ 74 歳の方
(75 歳となった方は後期高齢者医療制度の健康診査を受診できます。)

協会けんぽ、健康保険組合など社会保険にご加入の方

●生活習慣病予防健診（協会けんぽの場合）

対象者：全国健康保険協会（協会けんぽ）加入者（被保険者）の 35 歳～ 74 歳の方

●特定健診（協会けんぽの場合）

対象者：全国健康保険協会（協会けんぽ）加入者（被扶養者）の 40 歳～ 74 歳の方

定期健康診断・雇入時健康診断

事業者は、労働安全衛生法に基づき、労働者に対して、医師による健康診断を実施しなければなりません。また、労働者は、事業者が行う健康診断を受けなければなりません。

検査内容	検査項目	日帰りドック	脳ドック	特定健診	生活習慣病予防健診	定期健康診断	雇入時健康診断
問診		●		●	●	●	●
身体計測	身長	●		●	●	●	●
	体重	●		●	●	●	●
	腹囲	●		●	●	●	●
	BMI	●		●	●	●	●
血圧測定		●		●	●	●	●
視触診		●			●	●	●
視力検査		●			●		
眼底検査	眼底カメラ	●					
聴力検査	オーディオメーター	●			●	●	●
尿検査	糖	●		●	●	●	●
	蛋白	●		●	●	●	●
	潜血	●		※2	●	●	●
	尿沈渣	●					
便検査	便潜血反応検査(2日法)	●			●	●	
血液学的検査	ヘマトクリット	●			●	●	
	ヘモグロビン	●			●	●	
	赤血球	●			●	●	
	白血球	●			●	●	
	血清鉄	●					
	血小板数	●			●		
	末梢血液像	●					
生化学的検査	HbA1c	●		※2	●		
	空腹時血糖	●		●	●	●	
	尿酸	●		※2	●		
	中性脂肪	●		●	●	●	
	総コレステロール	●		●	●	●	
	HDL コレステロール	●		●	●	●	
LDL コレステロール	●		●	●	●		

検査内容	検査項目	日帰りドック	脳ドック	特定健診	生活習慣病予防健診	定期健康診断	雇入時健康診断	
生化学的検査	AST (GOT)	●		●	●	●		
	ALT (GPT)	●		●	●	●		
	γ-GTP	●		●	●	●		
	ALP	●						
	TTT	●						
	ZTT	●						
	総蛋白	●						
	アルブミン	●						
	総ビリルビン	●						
	直接ビリルビン	●						
	LDH	●						
	電解質	Na	●					
		K	●					
Cl		●						
Ca		●						
腎機能	クレアチニン	●		※2	●			
	eGFR	●		※2	●			
	尿素窒素	●						
膵機能	血清アミラーゼ	●						
心電図検査	12誘導	●			●	●		
肺機能検査	フローボリュームカーブ	●						
胸部レントゲン		●			●	●	●	
胃透視		※1			※1			
腹部エコー		●						
血圧脈波検査		●	●					
頭部MRI/MRA			●					
頸動脈エコー			●					
合計金額		¥34,000	¥29,000	¥500	¥7,038	¥8,000	¥6,500	

※1 胃透視から胃内視鏡検査へ変更される場合は変更料として¥2,050追加で徴収いたします。

※2 追加健診項目

外来診療担当医一覧表

平成 31 年 1 月 1 日現在

受付時間

(日・祭日は休診)

午前 8:30 ~ 11:00
 午後 13:00 ~ 16:00 [血液内科(木)]
 13:30 ~ 16:00 [脳神経外科(金)]
 13:30 ~ 15:30 [産婦人科(火・水・木)]

※急患については、この限りではありません。

※都合により診察日・時間が変更になる場合がございます。確認のうえご来院ください。

※お問合せの電話については、急ぎの用件を除いては、午後からのお電話にご協力お願い致します。

※「担当医」の表記については当該診療科の当番医が診察・診療を行います。

外来担当医表		月	火	水	木	金	土	
内科 消化器内科	午前	新患 森山悦子 菅 偉哉	於保和彦	垣内誠也 菅 偉哉	於保和彦 森山悦子	菅 偉哉 於保和彦	森山悦子 於保和彦 垣内誠也	担当医 垣内誠也
	午後					大屋周期		
血液内科	午後							
肝臓外来 (第2土曜日)	午前	(下記※1参照)					宮島一郎	
ピロリ菌外来 (第1・3月曜日)	午後	(下記※1参照)	於保和彦					
内分泌代謝内科 甲状腺外来 糖尿病外来	午前	新患・再来			吉信聡子		永山綾子	廣松雄治
	午後	再来(予約)			吉信聡子		永山綾子	
循環器内科	午前	新患 再来	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医 (急患のみ)
	午後			松本徳昭	野原 夢	吉岡 励	佐々木基起	
心臓血管外科	午前			土井一義		土井一義		
外科 消化器外科 肛門外科 乳腺外科	午前	新患・再来	貝原 淳	岐部史郎	貝原 淳	永野剛志	貝原 淳	担当医
	午後	再来	永野剛志				岐部史郎	
整形外科	午前	新患・再来	野崎 修	大場陽介	大場陽介	野崎 修	野崎 修 (第1.3.5) 大場陽介 (第2.4)	野崎 修 (第2.4) 大場陽介 (第1.3.5)
	午後							
産婦人科	午前	新患・再来	嘉村敏治	嘉村敏治		嘉村敏治	嘉村敏治	
	午後	新患・再来		嘉村敏治	寺田貴武	嘉村敏治		
皮膚科	午前		辛島正志	辛島正志	休 診	辛島正志	辛島正志	辛島正志
泌尿器科	午前			林秀一郎	平野泰嗣	植田浩介		西原聖顕 (第1.3.5) 植田浩介 (第2.4)
脳神経外科	午後						緒方敦之	
健診センター	午前		喜多奈穂	喜多奈穂	岩本元一	喜多奈穂	喜多奈穂	
検査担当医表		月	火	水	木	金	土	
放射線科	午後			小金丸雅道				
専門エコー外来	午後					黒松亮子		
内視鏡検査	午後	(下記※2参照)	担当医 向笠道太	担当医	担当医 城野智毅	担当医 渡辺靖友	担当医	

※1 ご希望の場合は、詳しい診療内容をお問合せください。

※2 内視鏡検査は原則消化器内科で診察のうえ検査実施となります。

柳川病院(代表) TEL 0944-72-6171

地域医療連携室 TEL 0944-74-8145 / FAX 0944-74-8165

からたち第41号 発行/2019年1月 編集/柳川病院広報委員会 発行者/一般財団法人医療・介護・教育研究財団 柳川病院

〒832-0077 福岡県柳川市筑紫町29番地 TEL0944-72-6171(代表) FAX0944-72-2092 http://www.yanagawa-hsp.jp/